

いわた 文化財だより 第167号

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成 31 年 2 月 1 日発行

目次

- 旧見付学校の新たな展示品紹介！・・・ P1～2
- いわたのこんなお話 豊田編④・・・ P3
- シンポジウム「寺谷用水の歴史と今」を開催します！
・・・ P4
- コラム『「イシケン」の博敏さん』を偲ぶ』
中山正典・・・ P4

国の史跡指定から 50 年 旧見付学校の新たな展示品紹介！

2019 年 1 月 14 日に
撮影しました。

現在、昨年の台風によって破
損した壁を、修理をしていま
す。館内は見学出来ますの
で、ぜひお越しください。



磐田市文化財課
キャラクター
ともちゃん

©磐田市

旧見付学校は明治 8 年（1875）に落成・開校式をあげた、現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎です。現在は、教育関係の資料の展示や、^{かすり} 紺の着物を着て昔の授業や遊びを体験するイベントの開催、小学校などからの見学の受け入れなどをおこない、地域の身近な文化財として親しまれています。

今回は、今年国の史跡指定から 50 年をむかえた旧見付学校の新たな展示品を紹介します。

新たな展示品 1



だいぜんぼう 大善坊校舎の鬼瓦

昨年、大善坊校舎跡地に建っていた磐田北幼稚園園舎解体工事にあたり、同園に保管されていた鬼瓦が旧見付学校に寄贈されました。

大善坊校舎は明治 21 年（1888）に、見付高等小学校の校舎として建てられました。明治 29 年（1896）の見付高等小学校の鐘鑄塚への移転後は、現在の磐田農業高校や磐田北高校などが大善坊校舎で開校しました。

今回展示に加わった鬼瓦は、昭和 42 年（1967）に大善坊校舎が取り壊される際に唯一残されたものです。瓦に「大正九年」（1920）という書き込みがあることから、大善坊校舎が現在の磐田北高校の校舎として使用されている時に、増築または改築の際、設置されたものだと考えられます。

多くの学生を見守り続けてきた瓦を是非ご覧ください。



大善坊校舎の鬼瓦
大善坊校舎の沿革

明治21年	大善坊校舎完成 見付高等小学校、大善坊校舎に入る
明治29年	見付高等小学校、鐘鑄塚に移転 現磐田農業高校、大善坊校舎で開校
明治41年	現磐田農業高校、現在地へ移転
明治42年	現磐田北高校、大善坊校舎で開校
大正末	現磐田北高校、現在地へ移転
昭和15年	現磐田西高校、大善坊校舎に入る
昭和22年	現城山中学校、大善坊校舎で開校 (現磐田西高校と同居)
昭和23年	現磐田西高校、現在地へ移転
昭和26年	現城山中学校、現在地へ移転 磐田教育会館などが大善坊校舎に入る
昭和29年	磐田北幼稚園、大善坊校舎で開園 (磐田教育会館など同居)
昭和41年	磐田教育会館などが移転
昭和42年	大善坊校舎解体、磐田北幼稚園 同所に新園舎建設(平成30年解体)



新たな展示品 2

昭和初期から中期に使われた学用品

ハーモニカやクレヨン、裁縫セットなど、昭和初期から中期に授業や学習に使われた学用品の展示をはじめました。裁縫セットは、箱の材質や中身が時代によって異なりますので、見比べてみてください。



裁縫セット（左：昭和初期 右：昭和中頃）



新たな展示品 3

見付宿家並模型（イメージ模型）

旧見付学校では、学校に関する展示だけでなく、学校のある見付の歴史に関する展示もおこなっています。二階展示室にある右の模型は、古文書や絵図などを参考に宿場の施設や、東海道から南北に通じる小路しょうじといわれる道を表現し、見付宿の町並みを視覚的にわかりやすく表現しています。じっくりとご覧ください。

見付宿家並模型（イメージ模型）部分
旅籠屋（宿屋）の軒が連なる



ほかにも、期間限定の展示もおこなっています！



みんなが描いた旧見付学校と旧赤松家記念館の絵を展示します

昨年募集した旧見付学校と旧赤松家記念館の絵に多数の応募ありがとうございました。提出していただいた作品の中から入賞作品を、両施設で展示します。みなさんの力作を、ぜひ見に来てください。

旧見付学校 2月6日（水）～2月19日（火）

旧赤松家記念館 2月20日（水）～3月5日（火）

両期間共に最終日は午後3時までの公開です。



展示室の様子

西側展示室で開催中！



旧見付学校企画展『明治150年と学校教育』

3月31日（日）まで、企画展『明治150年と学校教育』を開催しています。明治元年から150年をむかえ、磐田市内の学校も時代の流れとともに校舎を作り替えるなど時代に合った変化を遂げていきます。150年の変化を写真と出来事で振り返ります。詳しいみどころは、文化財だより第161号をご覧ください。



お問合せ

旧見付学校 **入館無料**

住所 磐田市見付 2452 電話番号 0538-32-4511

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜・祝日の翌日・年末年始

旧赤松家記念館 **入館無料**

住所 磐田市見付 3884-10 電話番号 0538-36-0340

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜・祝日の翌日・年末年始





くまがい けいぞう
熊谷敬三と学校



熊谷敬三

『ふるさと豊田改訂版』より

今年、生誕から 200 年を迎える左の人物をご存知ですか？今回は、磐田の学校と深い関わりがある熊谷敬三と学校についてご紹介します。

熊谷敬三と私塾、西之島学校開校へ

熊谷敬三は今から 200 年前の文政 2 年（1819）に西之島村（現、磐田市豊田西之島）に生まれました。幼い頃から学問や絵を習い、明治 3 年（1870）に邸内で私塾を開きますが、入塾希望者が多くなったため、近くの徳蔵寺（現在は廃寺）に場所を移します。

その後、明治 5 年（1872）の学制頒布（※）により、それまで開いていた私塾を明治 6 年（1873）に西之島学校として開校します。

生徒が増え校舎が狭くなると、熊谷は大工を東京と大阪に派遣して学校建設を研究、校舎の設計をさせ、自らも建設の監督にあたり、有志と共に尽力し、明治 8 年（1875）に若宮八幡宮境内に 2 階建ての校舎に塔のような形の 3 階をつけた洋風 3 階建ての校舎を建設しました。



西之島学校の絵図

（市指定文化財 編本著色 西之島学校図）

（※）日本最初の近代学校制度に関する規定（欧米の学校制度を参考に立案、学校制度の基本構想）を定め、全国に公布した。



西之島学校跡の碑

小学校の校舎に

明治 11 年（1878）、西之島学校の校舎の 3 階は地震や大風のときに危険であるという理由から取り壊されます。その後、2 階までの教室部分は、昭和 29 年（1954）まで西之島学校の後身である井通小学校（現豊田南小学校）の校舎として使用され、現在はその跡地に石碑が建っています。当時の校舎をみることはできませんが、平成 16 年に豊田南小学校が建て替えられた際、西之島学校への思いをこめ、明治 8 年に建てられた校舎にあった 3 階部分をイメージした塔が新校舎につけられました。石碑や新校舎から、熊谷が開校した西之島学校の面影を知ることができます。

雅号である『青城』が学校名に

西之島学校校舎を建設後の熊谷は、『青城』という雅号で絵を嗜み賞を得ています。今から 40 年前、豊田地区に新しく学校が設立された際、校名募集がおこなわれ、様々な校名案の中から熊谷の雅号である『青城』が選ばれ、青城小学校が誕生しました。西之島学校設立に尽力した熊谷の名は、小学校の校名にも残されています。



シンポジウム「寺谷用水の歴史と今」を開催します！

開催中の歴史文書館企画展『寺谷用水 ～天竜川下流域の景観を作り出した農業用水～』にあわせ、シンポジウムを開催します。寺谷用水の歴史と今をより詳しく知るチャンス！ぜひご参加ください。



シンポジウム 申込不要・聴講無料

- 日時 平成31年2月9日(土) 13:30～
- 場所 磐田市歴史文書館 2階大会議室
(磐田市岡729-1、竜洋支所2階)

終日展示を
ご覧いただけ
ます。

■出演

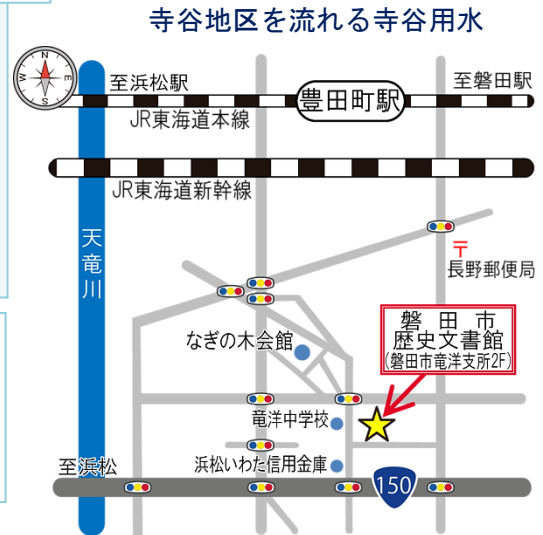
- 司会：杉野徹氏（磐田古文書会代表）
 パネリスト：藤田佳久氏（愛知大学名誉教授）
 池田藤平氏（寺谷用水土地改良区）
 青島一彦氏（向笠新屋）

企画展 開催中～2月28日(木)まで 入館無料

- 休館日 土・日・祝日
- 展示時間 9:00～17:00（入場は16:30まで）
- 会場 磐田市歴史文書館展示室（竜洋支所2階）

問合せ先 磐田市歴史文書館

TEL:0538-66-9112 FAX:0538-66-9722



職員リレー コラム

「イシケンの博敏さん」を偲ぶ

中山 正典

今、磐田市見付の宿町にお住まいだった「イシケンの博敏さん」こと石川博敏さん（平成14年逝去）が残してくれた『見付天神裸祭り記録』（昭和37年刊）を読み直しています。

この『記録』は座談会形式で、石川さんが司会をやり、見付の古老に裸祭について語ってもらった内容を記録にしたものです。この当時（昭和36年）全国の荒々しい祭が、やさしい祭になっていく時代で、見付天神裸祭も明け方までやっていたものを23時までに終了するように意見が出されました。これに対して、「伝統を守る」と主張する人、いや今こそ変革しなくてはという人もいて意見がわかれまました。大変興味深い話が、一切の虚飾を付さず、そのまま記録されています。



故石川博敏氏
(平成14年没／
享年94)

この石川さんが残してくれた『記録』を読むにつけ、石川博敏という人が、見付天神裸祭をはじめ、現在残る磐田市の文化財の保護、保存伝承にどれほど貢献してくれたか、また石川博敏文化振興基金が今でも磐田市の文化振興に大きく貢献していることも今更ながら敬服するものです。石川さんの遺徳を偲びます。

編	毎日、炬燵という魔窟に足を踏み入れ、
集	己の意思の強さを鍛えています。と、言
後	いたくなるくらい、炬燵からの脱出が苦
記	手です。春が待ち遠しいです。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699



©磐田市

◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田市文化財だより 検索